

## 競技上の注意等

- 1 2023年度日本陸上競技連盟規則に準ずるが、児童(小学生)である年齢を考慮した教育的配慮のもとに競技を進行する。なお、小学生については公認記録の対象としないため、2020年度に改正し更新されているシューズ規則に関するルール(第143条・競技用靴)の適用外とする。また、不正スタート規則に関するルール(第162条7)も適用外とする。
- 2 招集集合時刻に招集所にて、アスリートビブスのチェックを受ける。招集完了後、競技場所に移動する。遅れた場合は棄権とみなす。リレーに出場するチームは、招集所に掲示されている用紙( )の中に必ずオーダー(走者順)を記入する。(決勝進出時と同様)
- 3 トラック競技出場者(リレー第4走者)は、招集所で茨城陸協指定の腰ナンバー標識を受け取り、折り曲げずに右腰やや後方につける。競技終了後、ゴール地点で返却する。
- 4 トラック競技の予選はタイムレースで行い、上位8位(8チーム)を決勝進出とする。写真判定によって1/100秒単位で判定する。同タイムの場合は、1/1000秒以上の差で決定する。ただし、レーンに余裕がない時は抽選を行う。
- 5 スパイクシューズ(全天候用9mm以下)の使用を認める。ただし、4年生以上とする。素足での競技は危険を伴うので認めない。  
小学生のスタートは、クラウチングスタートとするが、スタンディングスタートも認める。スターティングブロックとバトンは、競技場の備え付けのものを使用する。  
※1~3年:ジャパニーズコール 4~6年:イングリッシュコール
- 6 男女100mは、A決勝・B決勝を行う。(A決勝:予選1~8位 B決勝:予選9~16位)  
※4年生の表彰は行わない。
- 7 80mハードルは、ハードルの高さ70cm、スタートから1台目まで13m、ハードル間隔は7m、台数は9台とする。
- 8 リレー競技におけるテイク・オーバー・ゾーンは30mである。ゾーンの中でスタートしなければならない。この規則に違反したときは失格とする。マーカー(最大5cm×40cmの粘着テープ1カ所のみ)を使用したチームは、前の走者が必ず取り除くこと。
- 9 走高跳は、危険防止のためマットへの着地は足裏からとし、背や腰から着地するような跳躍は無効試技(×)とする。  
※バーの上げ方は、次の通りとする。  
練習0m90—1m00—1m05—1m10—1m15—1m18・・・以降3cmずつ上げる。
- 10 ジャベリックボール投げは、やり投の規則に準ずる。ただし、助走は15m以内とする。ジャベリックボールを使用し、オーバーハンドスローで投げる。※羽だけ持って投げることは禁止する。
- 11 コンバインドA・Bは合計点数で成績を決める。
- 12 ジャベリックボール投2回、走幅跳2回、走高跳は同じ高さ2回までとする。
- 13 全国大会への出場権を得た選手・指導者は、大会終了後に会議室で打ち合わせを行いますので必ず出席してください。(筆記用具を持参してください。)